

令和6年産米作り開始 水稲栽培に向けた特別授業を実施

千種高校では、食育の一環として毎年取り組んでいる「イネの栽培（米作り）」が5月12日からスタートし、1年生が総合的な探求の時間を使って取り組みを開始しました。

J Aハリマは、この米作りのための栽培指導面で地元の指導者と一緒になって支援・協力しており、第1回目のこの日は営農相談員が「水田の役割について」「農業のSDGsへの取り組みについて」と題し生徒たちに特別授業を行いました。『自然環境に配慮した未来へつなぐ安心安全のお米』である特別栽培米とはどういうふうにか栽培された米を指すのか。千種町や一宮町で取り組んでいる経緯や、環境保全とどうつながるのかといった説明に生徒たちは熱心に耳を傾けていました。

同校では今年も昨年に引き続き、J Aが無償で苗や肥料を提供し、千種町で栽培されている特別栽培米「ちくさの舞」に取り組むこととし、管内の農家も使用している「令和6年度J A米栽培ごよみ」で田起こしから始まる水稲栽培について概略を勉強しました。

5月24日には、千種町の小学校・中学校の児童生徒と一緒に総勢59人で田植えをしました。今年も日本一のおいしいお米を目指して頑張ります！



水稲栽培について熱心に学ぶ生徒



J Aマーク入りのお揃いの帽子をかぶって植えました